眼でふれる
ー５つのまなざし
2021年2月16日［火］ー3月28［日］

1

2

3

4

5

1 岡崎紀《浮いた風景》1997
2 小林敬生《蘇生の刻 S62－8》1987
3 吹田文明《華々》1994
© Fumiaki Fukita 2020 /JAA2000263
4 永瀬義郎《浪曼》（版画集『浪曼』より）1978
5 ゼロ・ヒガシダ《KIYOMORI TAIRA》2017

創造の可能性に挑んだ５人の作家たち

本展では、独自のイメージを追求し、創造の可能性に挑んだ５人の作家に焦点をあて、その表現の変遷から彼らのまなざしに迫ります。

東広島市八本松に制作拠点を構えるゼロ・ヒガシダ（1958-）は、ステンレスやブロンズなどの素材と対峙し、具象や抽象という概念を超えた根源的な精神世界を創り出しています。

また、小林敬生（1944-）は、木口木版としては異例の大型作品制作を試み、作品のモチーフには幼少期を過ごした豊栄町や西条町の豊かな自然が影響しています。

戦争のため一時期、安芸津町に疎開していた永瀬義郎（1891-1978）は、創作版画の普及に尽力しつつ、固定観念に囚われない版画制作を行い、1922年には『版画を作る人へ』を出版し版画家を目指す人々に影響を与えました。

一方、現代の版画教育において多大な貢献をした吹田文明（1926-）は、銅版画技法のメゾチントを木版へ転用したラワン・メゾチント法を考案し、その鮮やかで明快な作品群は国際的な評価を得ました。

そして、西条町出身の岡崎紀（1938-）は、花や人体などから想起して、色やかたちを緻密に構成した独創的な心象風景を主に油彩によって描き出しています。

東広島市立美術館（学芸担当：所　広報担当：桑原）
〒739-0015 広島県東広島市西条栄町９番１号
TEL :082-430-7117　FAX :082-430-7118
E-MAIL:hhmoa2020info@gmail.com　WEB:https://hhmoa.jp/

東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

本展のみどころ

■5 人の作家による多彩な作品

本展では、5 人の作家の初期から近年、あるいは晩年までの作品を展示します。具象的な表現からの脱却を試み、眼にはみえない“根源的なるもの”を形にした立体作品、従来の木版画に独自の改良を加えた新しい版画表現など、彼らが創造の可能性に挑んだ軌跡を追います。新型コロナウイルス感染拡大により、改めて自己と社会、自然との関わりを見つめ直すこととなった今、美術館で直接彼らの作品に眼や心でふれることのみ得られる、美術の豊さをお楽しみください。

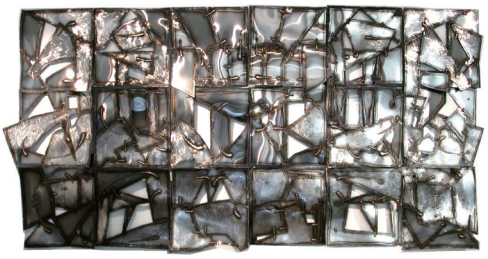
■大型作品の展示

展示作品の中でも、ゼロ・ヒガシダ《Last Supper B》（2005 年）は、幅約 6m、高さ約 3mのステンレスで造られた大型作品です。本作は、レオナルド・ダ・ヴィンチの《最後の晩餐》にインスピレーションを受けて制作されました。また、小林敬生の〈蘇生の刻〉シリーズは、木口木版画の大型化に挑んだ2m級の作品で、そのイメージは観る者を圧倒します。作品の迫力を是非ご体感ください。

出品作家

ゼロ・ヒガシダ ｜Zero HIGASHIDA（1958 年 -）

広島県広島市生まれ。1984(昭和59)年日本大学芸術学部美術科卒業。1986(昭和61)年東京藝術大学大学院修了後、渡米。1988(昭和63)年New York Studio School入学。1992(平成4)年広島国際文化財団海外奨学金取得。2008(平成20)年第10回KAJIMA彫刻コンクール金賞受賞('18特別賞)。2011(平成23)年第75回、76回新制作展新作家賞('13協会賞、'14会員)。現在、東広島市八本松に制作拠点を構え、ステンレスやブロンズなどの素材と対峙し、具象や抽象という概念を超えた根源的な精神世界を創り出している。



ゼロ・ヒガシダ《Last Supper B》2005 年

小林敬生 ｜Keisei KOBAYASHI（1944 年 -）

島根県松江市に生まれ、翌年には東広島市へと移り10歳まで過ごす。滋賀県大津市へ転居し高校を卒業後、インターナショナルデザイン研究所でデザイン・油彩・版画等を学ぶ。修了後は大阪のデザイン会社に勤めるが、まもなく上京し洋画家宮永武彦に師事した。この頃日和崎尊夫の〈KALPA〉に刺激を受け独学で木口木版を開始し、幼少期の自然豊かな環境を反映するがごとく、廃墟の中で蘇生する自然や生き物など生命賛歌を主題とした。1985(昭和60)年の〈蘇生の刻〉シリーズ以降、木口木版としては異例の大型作品の制作やハーフトーンによる“白い”絵画空間の創作など多様な表現を試みている。

小林敬生《遺された部屋 No.4》1977 年

東広島市立美術館（学芸担当：所　広報担当：桑原）
〒739-0015 広島県東広島市西条栄町 9 番 1 号
TEL :082-430-7117　FAX :082-430-7118
E-MAIL:hhmoa2020info@gmail.com　WEB:https://hhmoa.jp/

東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

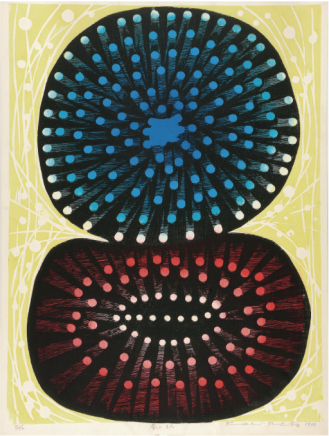
永瀬義郎 ｜ Yoshiro　NAGASE（1891-1978 年）

茨城県生まれ。1911(明治44)年東京美術学校(現東京藝術大学)彫刻科塑造部予備科に入学するも退学。1912(大正元)年『白樺』を通じて版画家になる決心をする。1916(大正5)年東京で日本版画倶楽部第一回版画展を長谷川潔らと開催。1922(大正11)年『版画を作る人へ』刊行。1929(昭和4)年渡仏('36帰国)。1944(昭和19)年頃賀茂郡安芸津町に一時期疎開し南薫造らと交友。1946(昭和21)年『芸南文化』創刊。固定観念に囚われない自由な版画制作を行い、1973（昭和48）年シルクスクリーンに改良を加えた新技法「Nagase Prints'73(ナガセプリント73)」を創り出した。

永瀬義郎《もの想う天使 (A)》1973 年

吹田文明 ｜ Fumiaki FUKITA（1926 年 -）

徳島県生まれ。1947（昭和22）年県内で小学校教諭として勤める。1949（昭和24）年徳島県の研究派遣生として東京美術学校(現東京藝術大学)で学ぶ。翌年から都内の小学校に図工専科教員として着任。1955(昭和30）年より美術教育における版画研究に取り組む。1957（昭和32）年日本版画協会展で恩地賞を受賞、翌年協会賞を受賞し会員となる。60年代には銅版画技法のメゾチントを木版へ転用したラワン・メゾチント法を考案するなど様々な試みを続ける。1967（昭和42）年サンパウロ・ビエンナーレで版画部門最優秀賞を受賞。その後、多摩美術大学教授となり版画科新設に携わるなど版画教育に大きく貢献した。



吹田文明《春の 2 人》1966 年
© Fumiaki Fukita 2020 /JAA2000263

岡崎紀 ｜ Osamu OKAZAKI（1938 年 -）

広島県東広島市西条町生まれ。5歳の頃柿手春三、中学生の頃中田旱と出会う。1955(昭和30)年画家になることを決意し広島洋画研究所で学ぶ。1961(昭和36)年多摩美術大学絵画科油絵専攻卒業。1967(昭和42)年新制作展において新制作協会賞受賞。1968(昭和43)年多摩美術大学大学院修了。1972(昭和47)年多摩美術大学助教授となる。1983(昭和58)年在外研修員として渡欧。1990(平成2)年から18年間多摩美術大学教授として後進育成に励んだ。色とかたちを緻密に構成した豊かで清新な心象風景を主に油彩によって描き続けている。

岡崎紀《階段のある風景》1988 年

東広島市立美術館（学芸担当：所　広報担当：桑原）
〒739-0015 広島県東広島市西条栄町 9 番 1 号
TEL :082-430-7117　FAX :082-430-7118
E-MAIL:hhmoa2020info@gmail.com　WEB:https://hhmoa.jp/

東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

開催概要

会期　｜2021 年 2 月 16 日 (火)ー3 月 28 日 (日)
開館時間｜9：00 ー 17：00(入館は閉館の 30 分前まで)
休館日　｜月曜日
観覧料　｜一般 600 円、大学生 300 円、高校生以下無料 (20 名以上団体 2 割引き)
主催　｜東広島市立美術館
会場　｜東広島市立美術館　2 階展示室、3 階展示室
後援　｜中国新聞社、NHK 広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、(株) 広島リビング新聞社、プレスネット、KAMON ケーブルテレビ、FM 東広島 89.7MHz、尾道エフエム放送

章構成

Ⅰ「根源的なるものをかたちづくるーゼロ・ヒガシダ」
Ⅱ「拡がるイメージー小林敬生」
Ⅲ「版画表現への浪漫と探究ー永瀬義郎」
Ⅳ「鮮やかな光彩世界ー吹田文明」
Ⅴ「心象風景：人体・花・風ー岡崎紀」

東広島市立美術館（学芸担当：所　広報担当：桑原）
〒739-0015 広島県東広島市西条栄町 9 番 1 号
TEL :082-430-7117　FAX :082-430-7118
E-MAIL:hhmoa2020info@gmail.com　WEB:https://hhmoa.jp/

東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

関連イベント

パフォーマンス「casting a shadow」

オランジュリー美術館をはじめ国内外で活躍する國本文平氏に、身体表現から投げかけられた影によって作品と鑑賞者をつなぐコンテンポラリーダンスを披露していただきます。

日時｜2021 年 3 月 7 日（日）17：30 ～ 18：10
定員｜30 名　(申込先着順 / 電話受付［082-430-7117］定員に達し次第募集終了 / 要観覧券)
会場｜本展展示会場

國本文平｜Bumpei KUNIMOTO（ダンサー・作業療法士）
1985 年生まれ。15 歳の時、交通事故にあいリハビリのためクラシックバレエとコンテンポラリーダンスを始める。世界的なコンテンポラリーダンスの登竜門である Yokohama Dance Collection EX2011 で『若手振付家のための在日フランス大使館賞』を受賞し渡仏。
文化庁新進芸術家海外研修生 2016-2018 として再度渡仏し、フランスの振付家と創作や研究を深めている。
ダンサーとして、また作業療法士として芸術と医学を舞台やワークショップにおいて融合させ、より良い心身の在り方を探求している。

撮影：ASANO KENICHI

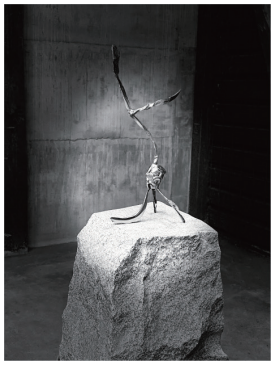
國本文平《The son》2012 Paris
撮影：HIDEMI KANBARA

國本文平《The son》2012 Paris
撮影：HIDEMI KANBARA

アーティストトーク　ゼロ・ヒガシダ（芸術家）

芸術家を志したきっかけからアメリカ留学、そして現在の活動にいたるまでをお話いただきます。

日時｜2021 年 3 月 14 日（日）　14：00 ～ 15：00
定員｜30 名　(申込先着順 / 電話受付［082-430-7117］定員に達し次第募集終了)
会場｜1 階アートスペース


ゼロ・ヒガシダ《夢蓮華》マケット　2014

東広島市立美術館（学芸担当：所　広報担当：桑原）
〒739-0015 広島県東広島市西条栄町 9 番 1 号
TEL :082-430-7117　FAX :082-430-7118
E-MAIL:hhmoa2020info@gmail.com　WEB:https://hhmoa.jp/

東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

東広島市立美術館　広報用画像使用について

東広島市立美術館　広報用画像をご使用の際は下記の点にご注意ください。

- 本広報用画像の使用は、出版・放送（番組）、WEB 等、東広島市立美術館の広報を目的とした報道に限らせていただきます。

- 画像は、「広報用画像申込書」に掲載・放送内容を具体的に記載のうえご申請ください。
東広島市立美術館より画像データをお送りいたします。美術館より提供した画像は、使用後必ずご担当者が責任をもって破棄してください。

- 写真①～⑥を掲載の際は、「広報用画像申込書」をご参照のうえ、キャプション及びコピーライト表記（※④吹田文明《華々》1994　© Fumiaki Fukita 2020 /JAA2000263）を入れてください。
- ④吹田文明《華々》1994　© Fumiaki Fukita 2020 /JAA2000263 の作品画像は、50 ㎠以下、作品画像画素数は 32400pixel 以下で使用してください。

- 画像は全図で使用してください。トリミング・文字のせ、部分使用はできません。

- 申請いただいた媒体以外の企画での二次使用はできません（例：出版物表紙、広告素材使用等）。再掲載・再放送などを希望される場合は、別途申請が必要です。

- 基本情報と画像使用の確認のため、校正を FAX またはメールで東広島市立美術館 指定管理者 株式会社イズミテクノにお送りください。

- 掲載紙・誌または同録テープを 2 部、東広島市立美術館 指定管理者 株式会社イズミテクノにご提供ください。

東広島市立美術館（学芸担当：所　広報担当：桑原）
〒739-0015 広島県東広島市西条栄町 9 番 1 号
TEL :082-430-7117　FAX :082-430-7118
E-MAIL:hhmoa2020info@gmail.com　WEB:https://hhmoa.jp/

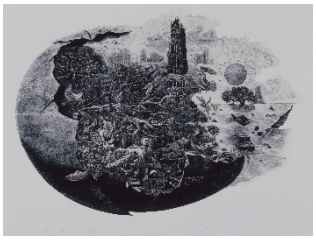
東広島市立美術館
HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

東広島市立美術館　広報用画像申込書

■FAX 082-430-7118　■E-mail　hhmoa2020info@gmail.com（東広島市立美術館　指定管理者　㈱イズミテクノ）

申し込みフォーム			
貴媒体名			
貴社名/部署			
ご担当者名		E-mail	
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL	FAX	
放送日	年　月　日	掲載号発売日	年　月　日
放送/掲載内容			
画像データの必要期限	年　月　日まで		

※上欄にご記入いただいた個人情報は、広報用画像貸出の目的のみに使用し、それ以外の用途には使用いたしません。

広報用画像一覧掲載ご希望の画像（□にチェックをいれてください）					
① □		④ □		⑦ □	
② □		⑤ □		⑧ □	
③ □		⑥ □		⑨ □	東広島市立美術館 HIGASHIHIROSHIMA CITY MUSEUM OF ART

■作品キャプション

①ゼロ・ヒガシダ《KIYOMORI TAIRA》2017　②吹田文明《華々》1994 © Fumiaki Fukita 2020 /JAA2000263　③小林敬生《蘇生の刻 S62－8》1987　④岡崎紀《浮いた風景》1997　⑤永瀬義郎《浪曼》（版画集『浪曼』より）1978　⑥國本文平《The son》2012 Paris　⑦⑧美術館北側正面